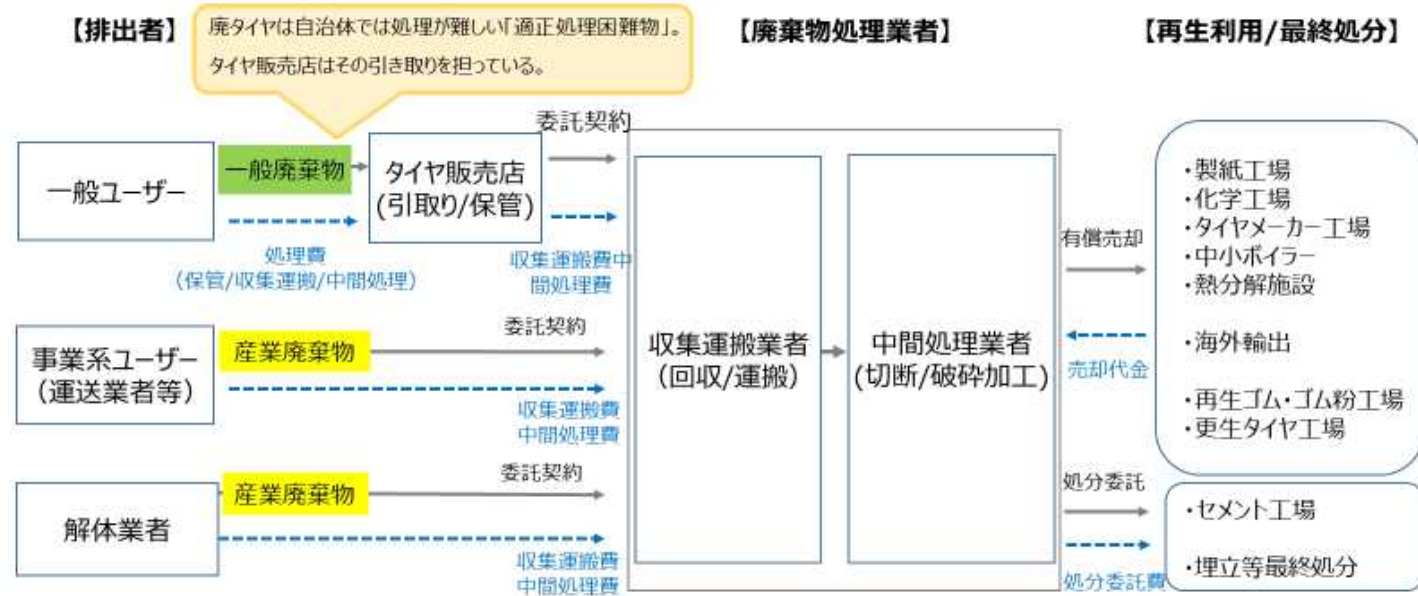


■タイヤ業界におけるリサイクル（一般社団法人日本自動車タイヤ協会）

- 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会における業界活動の一環として、会員企業一丸となって、廃タイヤの適正処理及びリサイクルの推進に取り組んでいる。主な活動内容としては、①廃タイヤ適正処理の推進(リサイクル研修会の実施)、②廃タイヤ処理状況の確認(リサイクル状況の調査、不法投棄状況の調査)、③不法投棄タイヤの撤去推進(原状回復支援制度の運用)。

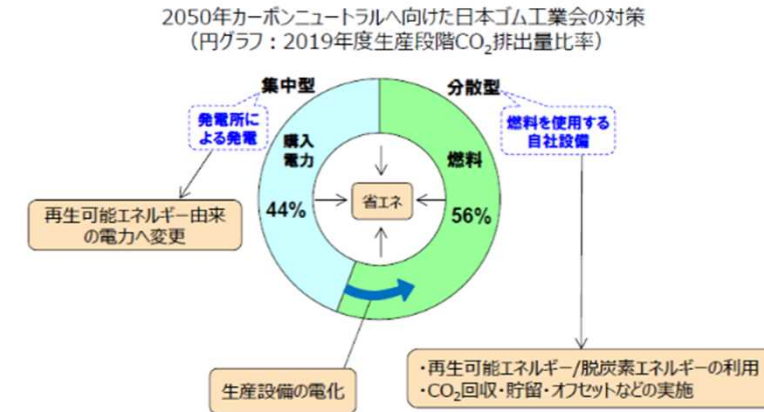
廃タイヤの処理ルート



カーボンニュートラルへの取り組み

(4) 当会の長期ビジョン

・国内外の状況(パリ協定や2050年カーボンニュートラル宣言等)を踏まえ、2022年1月に『日本ゴム工業会の地球温暖化対策長期ビジョン(2050年カーボンニュートラルへの取組)』を策定して、「生産段階のCO₂排出量を2050年までに実質ゼロにする」ことを目指すとした。

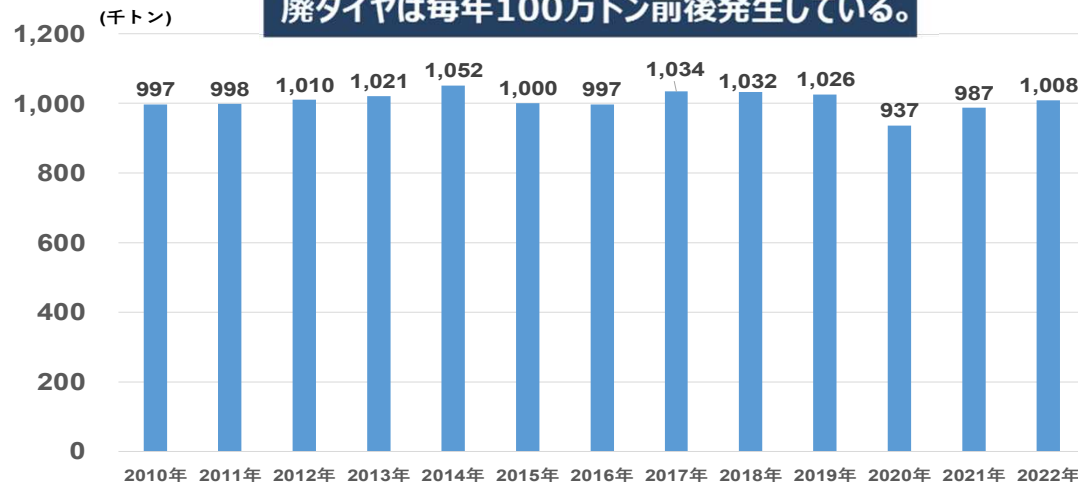


(注) グラフ中の比率は火力原単位方式によるコジェネ効果の算定(控除分)は含めていない。

※日本ゴム工業会資料より抜粋

廃タイヤ発生量

廃タイヤは毎年100万トン前後発生している。



廃タイヤリサイクル利用量

90～100万トンの廃タイヤが毎年リサイクル利用されている。

